

アジアフォーラム
・ジャパン専務理事

吉原 欽一氏



「草の根(ケ
ラスルート)」
とは、一般人
および彼らが形
成するグループを指す。もと
もとは反戦運動とか環境保護

活動の支持基盤
となってきた運
動体だ。これが
保守側でも生ま
れたのが「草の
根保守」だ。

第2次大戦後
の米国では保守
主義は主流では
なかった。だが、1994年
の中間選挙で共和党は40年ぶ
りに下院で多数党となった。

保守主義 インタビュー

この時の選挙は「保守革命」と呼ばれた。それを支えたのが草の根保守だった。

米国の保守はそれまで、小さな政府や減税を求め、市場経済中心主義を志向する「経

米共和党支えた「革命」

済的保守」と、銃規制や同性愛、妊娠中絶などに反対する「社会的保守」という肌合いの合わない二つのグループに分かれていた。共和党は、多数党を勝ち取るには小異を捨てて大同につかねばと考えた。そのために掲げたのが①小さな政府②道徳的価値の順守③力による平和④減税——という四つの保守の理念だ。一つでも当てはまれば「あなたは保守だ。共和党に支持を」と呼びかけた。

共和党は、草の根の要望をくみ上げやすくするロビー活動関係の法整備を行い、保守の糾合、支持基盤拡大に成功した。敗色濃厚とされた2002年の中間選挙と04年の大統領選挙で共和党が勝ったのも、草の根保守の動員が大きな力となった。今月7日の中間選挙での敗北は、イラク政策やスキャンダルで草の根保守の期待を裏切ったことが大きく影響している。

安倍首相が掲げる「開かれ

た保守主義」も、様々な保守層を巻き込んだ大同団結を目指しているのだろう。就任直後の訪中や戦争責任に関する発言などを指して「首相は保守から離れた」との指摘もあるが、そうだろうか。伝統的な保守層だけをいらないで国民的支持は得られないというわけではないか。

草の根保守は、保守主義を理念だけで終わらせず、実践に結びつける運動だ。大衆の心だけでなく、大衆の権益、利害までつかまないと運動は成り立たない。そうしたことも念頭に、安倍首相は保守を導く「たいまつ」を掲げることを模索しているのだろう。

◇ よしはら・きんいち 東京都出身。成蹊大学院修了。外交政策を研究する社団法人アジアフォーラム・ジャパン専務理事。著書に「現代アメリカ政治を見る眼 保守とケラスルート・ホリテイクス」(日本評論社)など。52歳。